

川崎市中央卸売市場北部市場 機能更新事業の概要について

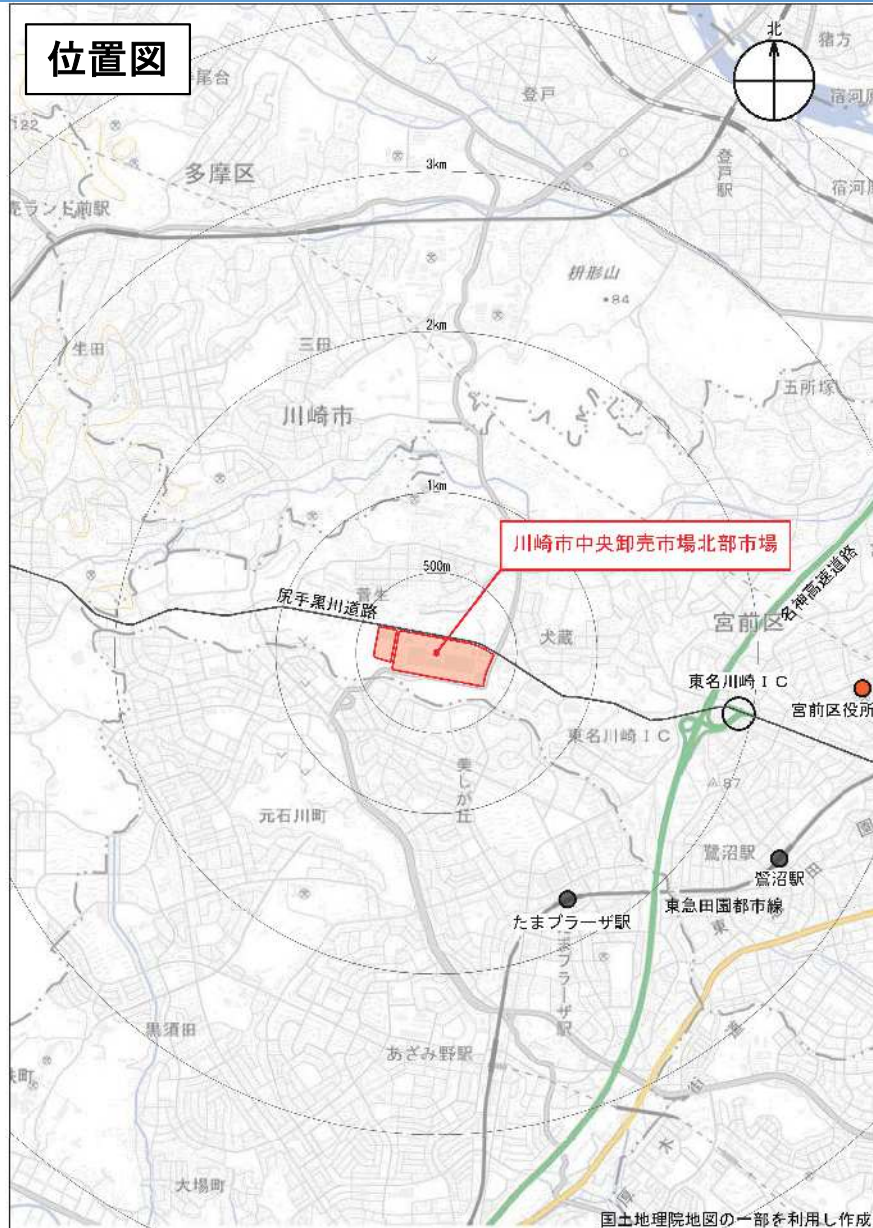


令和 6 年 7 月 12 日
川崎市経済労働局中央卸売市場北部市場

川崎市中央卸売市場北部市場機能更新事業 について

1 川崎市中央卸売市場北部市場（概要）

位置図



場内地図

北部市場マップ



川崎市北部市場ホームページより抜粋

川崎市中央卸売市場北部市場機能更新事業 について

2 本市場の主要機能（現状と機能更新後） ※基本計画記載

部門	現状面積(m ²)	機能更新後面積(m ²)【概数】		現状比(※)
			低温化面積(内数)	
青果部	22,331	23,700	9,700	106%
水産物部	14,644	10,100	5,800	69%
花き部	2,699	1,900	1,800	73%
3部門合計	39,674	35,700	17,300	90%
関連商品売場	10,291	8,100		79%
管理事務所	5,245	5,300		101%
冷蔵・冷凍施設	16,606	10,500		63%
駐車場 (台)	47,950 (1,918)	39,000 (1,600)		81%

この他、機能更新において整備する施設・設備としては、場内事業者の事務所及びその他業務施設、廃棄物処理関係施設、フォークリフト等の車庫などに加え、通路・車路等の共用部がある。

なお、共用部を含む詳細な施設規模については、今後も精査を継続し、基本設計において確定する。

※ 規模と現状比の不一致は、端数調整によるもの。

川崎市中央卸売市場北部市場機能更新事業 について

3 基本計画策定の趣旨

北部市場は開場から42年が経過

- | | |
|----------------------|-----------------|
| ①施設の全体的な老朽化への対応 | ④市民に親しまれる市場化の推進 |
| ②食品流通拠点としての機能の強化 | ⑤卸売市場事業特別会計の健全化 |
| ③災害時の支援物資拠点としての機能の強化 | |

社会経済環境の変化に対応した機能強化を図るため、全体的な機能更新が必要

課題への対応の方向性

- | | |
|--|---|
| ①開場42年が経過し早期の機能更新の実施 | ③ ア 支援物資関連業務と市場本来業務の併存・同時進行が可能な環境の確保 |
| ② ア 基本機能の改善・強化への対応
イ 時代の変化に伴う消費ニーズの変化への対応
ウ 「物流の2024年問題」を踏まえた流通機能の強化 | イ 市場関係者との災害時における対応方法の見直し
ウ 災害用電源設備等の機能強化 |
| 
大規模屋上防水工事の様子 | ④ ア 市民来場機会の確保、直接的還元の促進 |
| 
低温管理、品質管理の需要増
(事業者が整備した低温管理設備) | ⑤ ア 民間活用による維持管理・運営の効率化 |
| 
路上での荷捌き、車両滞留 | イ 敷地の有効活用による新たな収入の確保 |

卸売市場に必要な機能・規模、施設整備の考え方や敷地を有効活用するための土地活用の考え方など、機能更新の基本的な考え方を整理 ➡ 「北部市場機能更新に係る基本計画」をR6.3に策定

川崎市中央卸売市場北部市場機能更新事業 について

4 施設配置計画（モデルプラン）

R19（完成・全棟供用開始）

- ・市場施設全棟供用開始（R19頃）
- ・旧水産棟跡地周辺を更地化し、開発業者等へ定期借地を開始



※本工程には、複数回に亘る駐車位置及び緑地帯等の移転や、パッケージ棟など一部の施設の仮設建設が含まれる。

※**本案はあくまでモデルプランであり、ローリング工事手順及び施設配置については、場内事業者との調整及び開発業者等選定に際しての民間事業者からの提案を踏まえ、決定する。**

モデルケース上の面積配分

卸売市場エリア（市場施設用地）	： 約11ha
市場機能連携エリア（民間収益施設用地）	： 約6ha

川崎市中央卸売市場北部市場機能更新事業 について

5 今後の事業スケジュール

◆ R6.7 実施方針・要求水準書（案）の公表

◆ R6.9 入札公告（予定）

◆ R7.5 落札者の決定（予定）

◆ 令和7年度（予定）に契約を締結し、同年度末から**環境影響評価、再整備に係る調査・設計等を開始**（※各種調査は約3年半～4年を想定、公募時の提案内容を踏まえて決定する）

● 全体スケジュール（R8以降の工事スケジュールは基本計画のモデルプランを基に設定）

